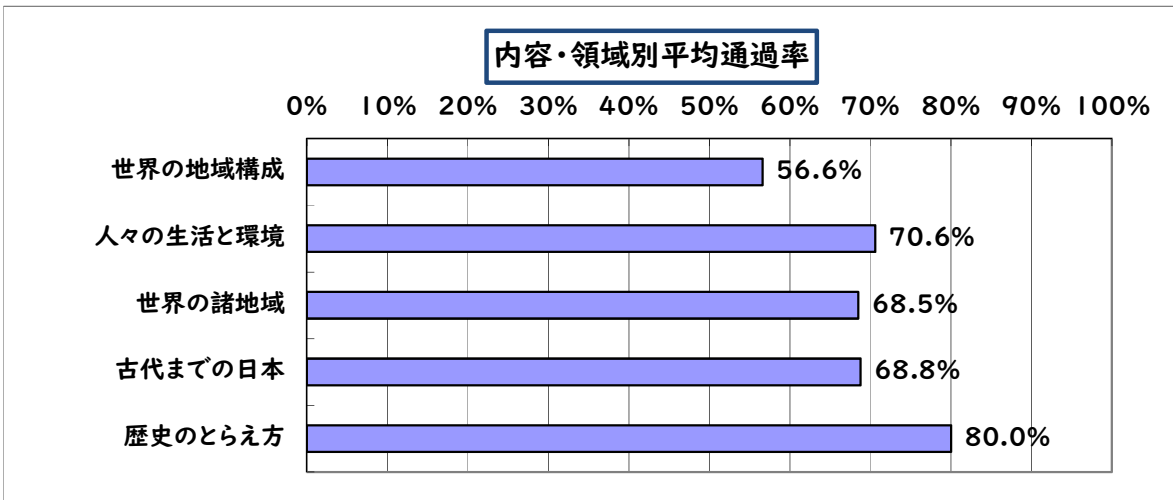
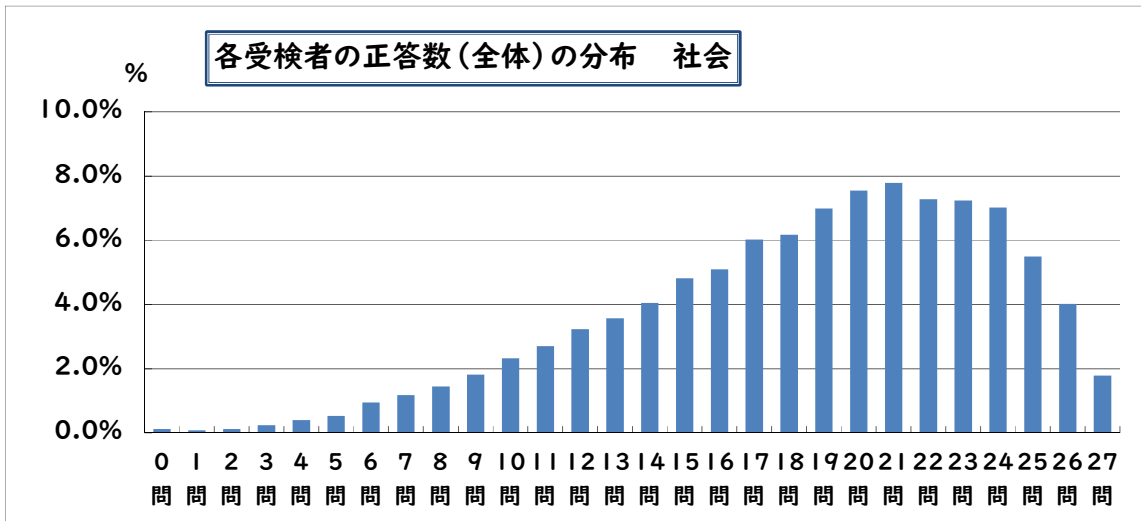


中学校第1学年【社会】

(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率				
		小5	中1	中2
	知識・技能	82.4%	70.6%	55.3%
	思考・判断・表現	67.7%	64.1%	54.2%
全体	77.5%	68.4%	55.2%	



- 「知識・技能」に関する問題の平均通過率は70.6%と概ね高い状況です。ただ、時差を求める問題(57.8%), 孔子(34.9%)や中国の王朝名「漢」(51.2%)を問う問題の通過率が低くなっています。時差に関しては、概念や地図上の位置をイメージできるように、動画を見せるなどの工夫を行い、生徒の苦手意識を払拭する必要があります。社会科は教科の特性上、用語の理解等が多いことから、定期的に復習し、定着しているかを確認することが重要です。
- 「思考・判断・表現」に関する問題の平均通過率は64.1%であり、インドの経済が急速に成長している理由を説明する問題(52.6%)や貴族の暮らしが農民の税によって成り立っていることを説明する問題(64.9%)の通過率が低くなっています。例えば、歴史においては、歴史的事象の背景や原因等を考えさせる授業を行うとともに、意図的に資料の読み取りや資料の比較を行わせる必要があります。

(2) 各設問の分類と平均通過率

社会(中学校第1学年)

設問	設問			出題学年	内容領域別					評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図	
	大問	中間	小問		世界の地域構成	世界各地の人の生活と環境	世界の諸地域	古代までの日本	歴史のとらえ方	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率		
1	1	(1)		小5中1	○					○		77.0%	1.1%			三大洋の名称と位置を理解しているか。	
2		(2)		中1	○					○		58.6%	0.2%			正距方位図の特徴を理解した上で、別の地図に置き換えて正しい最短コースを読み取ることができるか。	
3		(3)		中1	○					○		57.8%	0.2%			時差の求め方を理解しているか。	
4		(4)		中1	○					○		33.1%	0.5%			沖ノ島が存在することによる、排他的経済水域の広さを求めることができるか。	
5	2	(1)		中1		○				○		73.2%	0.2%			気候帯の特徴を理解しているか。	
6		(2)		中1		○				○		76.4%	6.0%			冷帯の特徴と、近年の気候変動による温暖化の影響を関連付けて説明することができるか。	
7		(3)		中1		○				○		48.1%	0.4%			古くから先住民の住むアンデス山脈の高山都市の暮らしの変化を理解しているか。	
8		(4)		中1		○				○		84.6%	0.5%			三大宗教の特徴について理解しているか。	
9	3	(1)		中1			○			○		34.4%	0.6%			東南アジアの地域協力組織や工業の特色を理解しているか。	
10		(2)		小5中1			○			○		89.6%	0.5%			西アジアに石油が多く分布していることを理解しているか。	
11		(3)		中1			○			○		52.6%	9.3%			アメリカ合衆国とインドの位置関係から、時差を読み取り、企業間で連携していることを説明することができるか。	
12		(4)		中1			○			○		90.0%	2.6%			アフリカ大陸にある世界最大の砂漠の名称を理解しているか。	
13		(5)		中1			○			○		80.4%	0.5%			プランテーション(農業)について理解しているか。	
14		(6)		中1			○			○		64.1%	8.3%			農業や鉱産資源などの第一次産品の輸出にたよっていることから、価格変動によって輸入が不安定になることを読み取ることができるか。	
15	4	(1)		中1				○		○		78.0%	0.4%			資料を読み取り、縄文人の生活の様子を理解しているか。	
16		(2)		中1				○		○		34.9%	19.4%			春秋戦国時代に、孔子によって儒教が開かれたことを理解しているか。	
17		(3)		中1				○		○		53.9%	9.5%			秦の時代に万里の長城が建設された理由を理解しているか。	
18		(4)		小6中1				○		○		85.8%	3.5%			弥生時代における農耕文化の広まりと社会の変化について説明することができるか。	
19		(5)		小6中1				○		○		51.2%	1.5%			争いが続いている国内の対立勢力に対して、漢の力を利用して、自分の立場を有利にしようとしたことを理解しているか。	
20	5	(1)		中1				○		○		82.9%	0.5%			十七条の憲法の制定目的を理解しているか。	
21		(2)		中1				○		○		85.5%	0.8%			7世紀半ばの東アジアの様子と律令のしくみについて理解しているか。	
22		(3)		中1				○		○		64.9%	6.9%			奈良時代の皇族・貴族の暮らしは、農民の重い税によって成り立っていることを説明できるか。	
23		(4)		小6中1				○		○		72.3%	8.8%			平安時代の摂関政治と同様、権力を広げるための方法について説明できるか。	
24		(5)		中1				○		○		78.3%	4.2%			国風文化について理解しているか。	
25	6	(1)		中1				○	○			80.4%	1.6%			世紀の表し方を理解しているか。	
26		(2)		中1				○	○			72.9%	5.0%			時代を区分する表し方を理解しているか。	
27		(3)		小6				○	○			86.8%	0.8%			鹿児島出身の人物を正しく理解しているか。	
計				問題数	4	4	6	10	3	18	9						
				出題割合	14.8%	14.8%	22.2%	11.1%	37.1%	66.7%	33.3%						
												68.4%	3.5%	0.0%	0.0%		

(3) 社会 <中学校第1学年>

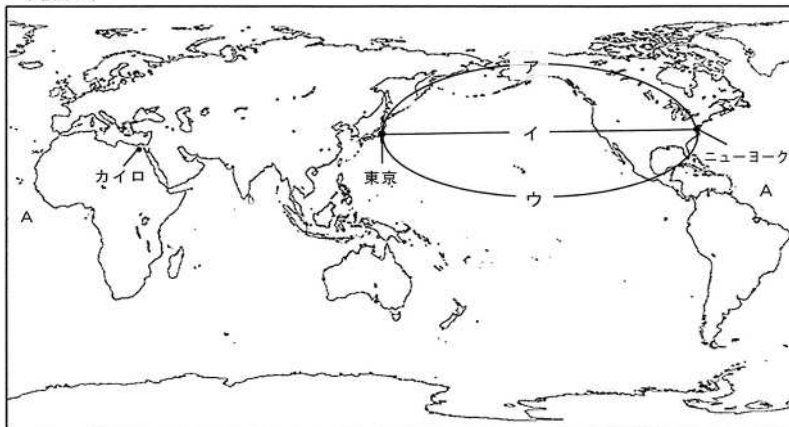
ア 特徴ある問題から 大問1 (3)

学習指導要領解説には、「世界各地との時差については、日本と世界各地との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解できるようにすることを意味している。」とあります。そこで本問題では、単に時差が生じる原因を答えるだけの問題ではなく、東京とカイロ間の2地点の時差を求める問題を出題しています。

その際、毎年、通過率が低い(R3においては、平均通過率53.2%、東経と西経にまたがる2地点の時差を求める問題を出題) という結果であったことから、まずは、東経と東経の2地点間の時差を求める問題を取り扱うことで定着を図ってほしいと考え、出題しています。

1 次の地図や資料を見て、あとの問いに答えなさい。

(地図1)



二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!

(3) 地図1中の東京とカイロの時差は何時間になるか。次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。ただし、経度15度で1時間の時差が生じ、日本の標準時子午線は兵庫県明石市を通る東経135度、エジプトのカイロは東経30度とする。

- ア 7時間      イ 9時間      ウ 11時間      エ 13時間

本問題における平均通過率は57.8%となっています。原因としては、生徒が時差の概念を理解しないまま、時差を求める問題に取り組ませている可能性が考えられます。そこで、授業改善としては、次のような工夫が考えられます。

イ 授業改善のポイント

7 提案

時差に関する問題

生徒が時差の概念をイメージできるようにしたい。地球儀や掛け地図を使ったり、映像を見せたり、ICT(ソフト等)を活用するなど、授業の工夫を図りたい。定着を図るために、理解させた後は、演習問題に取り組むことは必須である。

手立て

- 1 時差が生じる原因を考えさせる。
- 2 生徒がイメージできるようにする。
- 3 時差を求める。

例えば、新年を迎える順番 1 日本 2 イギリス 3 アメリカが理解できれば、時差をイメージしやすくなる。

左記の手立てを意識して授業を行いましょう。

手立て1及び2においては、

- ① 用語(東経、西経など)を理解させ、
- ② 映像等を活用して、生徒がイメージしやすいようにして、時差が生じる原因を考えさせます。

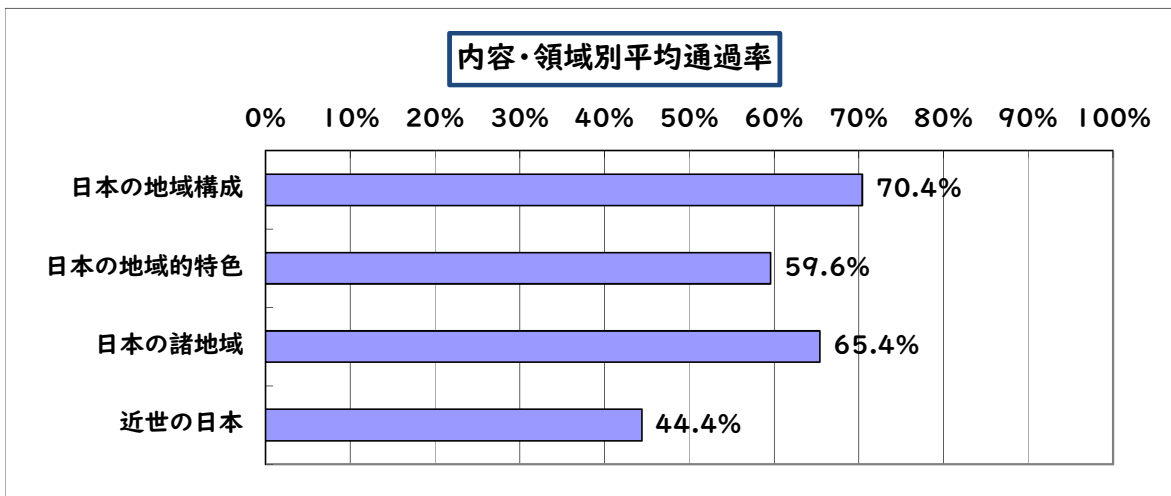
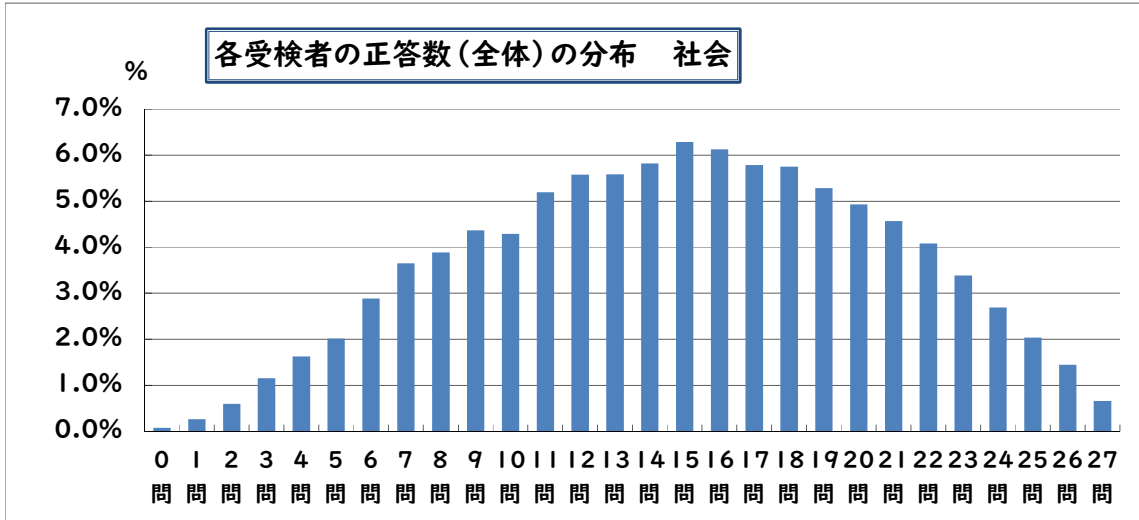
手立て3においては、

- ① 東経と東経の2地点の時差を求め、次に、
- ② 東経と西経の2地点の時差を求め、
- ③ 日付変更線を含む場合はどうなるかなど、様々な問題に取り組ませます。

中学校第2学年【社会】

(1) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率				
		小5	中1	中2
	知識・技能	82.4%	70.6%	55.3%
	思考・判断・表現	67.7%	64.1%	54.2%
全体	77.5%	68.4%	55.2%	



○ 「知識・技能」に関する問題の平均通過率は55.3%と低い状況です。地理では、滋賀県の県庁所在地と位置を問う問題(39.8%), 歴史では、江戸時代の政治改革を選択する問題(23.6%)の通過率が低くなっています。地図帳を活用し、地名と場所を関連付けしたり、政治改革の特色を比較させて、その違いを説明させたりするなど、工夫が必要です。社会科は教科の特性上、用語の理解等が多いことから、定期的に復習し、定着しているかを確認することが重要です。

○ 「思考・判断・表現」に関する問題の平均通過率は54.2%と低い状況です。歴史において、イエズス会が布教活動を行った理由を説明する問題(31.9%)や豊臣秀吉のキリスト教への対応を説明する問題(34.2%)が特に低くなっています。これらの問題は、設問そのものを学習課題として設定して、1単位時間の授業の中で取り扱うなど工夫を行い、思考力・判断力・表現力を図ることが大切です。

(2) 各設問の分類と平均通過率

社会(中学校第2学年)

	設問			出題学年	内容領域別				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問		日本の地域構成	日本の地域的特色	日本の諸地域	近世の日本	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1	1	(1)		小4 中2	○				○		57.9%	0.2%			縮尺について理解しているか。
2		(2)		小4 中2	○				○		61.6%	0.1%			地図の記号等を基に、地形図を読み取ることができるか。
3		(3)		小4 中2	○					○	67.4%	1.7%			等高線を読み取り、ルートを判断した理由を表現することができるか。
4		(4)		小4 中2	○				○		94.8%	1.9%			防災への取組の一つである防災マップについて理解しているか。
5	2	(1)		中2	○				○		60.8%	5.7%			地形の特色の一つである扇状地について理解しているか。
6		(2)		中2		○				○	69.5%	4.8%			瀬戸内の気候について、雨温図や模式図を用い、季節風との関係から説明することができるか。
7		(3)		中1 中2		○				○	39.9%	1.4%			資料を活用して、県の位置を特定でき、かつ県庁所在地名を理解しているか。
8		(4)		中2		○				○	62.7%	5.4%			日本の発電所のうち、火力発電所の分布について、資料と関連付け、立地条件を説明することができるか。
9		(5)		中2		○				○	65.0%	0.8%			日本の食料自給率について理解しているか。
10	3	(1)		中2		○			○		43.7%	0.5%			府県の位置、地域の人口の動態、都市の立地や機能に関する知識を組み合わせ、資料の情報を基に選択することができるか。
11		(2)		中2			○		○		72.4%	3.9%			二毛作について理解しているか。
12		(3)		中2			○			○	76.5%	5.4%			資料を基に、歴史的景観都市である京都の景観や町並みを守るための工夫を理解し、表現することができるか。
13		(4)		中2			○			○	70.7%	0.6%			日本の交通について、最も適当なものを地図から読み取ることができるか。
14		(5)		中2			○			○	63.9%	0.5%			グラフの読み取り方と、割合の計算方法を理解しているか。
15	4	(1)		中2				○	○		46.7%	0.3%			新航路の開拓について理解しているか。
16		(2)		中2				○	○		58.5%	0.4%			南蛮貿易の輸出品について理解しているか。
17		(3)		中2				○	○		31.9%	13.7%			宗教改革とその後のヨーロッパの海外進出を結び付けた説明することができるか。
18		(4)		中2				○	○		34.2%	10.6%			豊田秀吉のキリスト教への対応について、資料を基に説明することができるか。
19		(5)		中2				○	○		49.5%	0.6%			桃山(安土桃山)文化を代表する建造物について理解しているか。
20	5	(1)		中2				○	○		35.8%	0.6%			江戸時代の初期の日本とアジアの交流について理解しているか。
21		(2)		小6 中2				○	○		65.1%	8.8%			江戸幕府による百姓支配について理解しているか。
22		(3)		中2				○	○		56.7%	12.8%			江戸幕府による大名統制の目的について、資料を基に説明することができるか。
23		(4)		中2				○	○		40.1%	7.8%			琉球王国と薩摩藩の関係や琉球使節が幕府の権威の強化にも利用されたことを理解しているか。
24	6	(1)		中2				○	○		48.7%	8.7%			江戸時代に大阪が商業の中心地として栄えた理由を、資料を基に説明することができるか。
25		(2)		中2				○	○		23.6%	1.1%			江戸幕府による政治改革の特徴について理解しているか。
26		(3)		中2				○	○		41.0%	1.0%			江戸時代の産業の発達について理解しているか。
27		(4)		中2				○	○		44.9%	1.1%			江戸時代の文化の特色や新たに発達した蘭学について理解しているか。
計				問題数	5	5	4	13	18	9					
				出題割合	18.5%	18.5%	14.8%	48.1%	66.7%	33.3%					
											55.2%	3.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	



(3) 社会 <中学校第2学年>

ア 特徴ある問題から 大問 5 (3)

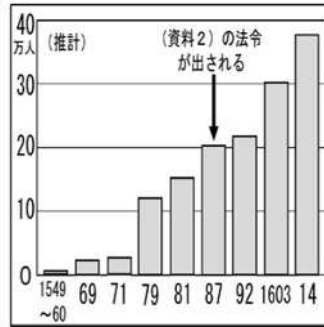
学習指導要領解説には、「当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などを取り上げる。」とあります。そこで本問題では、単に豊臣秀吉のキリスト教への対応を選択肢の中から選ばせる問題ではなく、豊臣秀吉のキリスト教への対応について、資料を基に説明する問題を出題しています。

その際、ザビエルがキリスト教を伝えてから、江戸時代に鎖国を行うまでの間、その時々でキリスト教への対応が変化しており、豊臣秀吉がキリスト教に対して、どんな対応を行ったか、また、そのように対応した理由を、資料やグラフから読み取って説明できる力を身に付けるよう、出題しています。

(4) 略年表中Dについて、次の資料2は豊臣秀吉が出した宣教師の国外追放を命じた法令、資料3は日本のキリスト教の人数の移り変わりを表している。資料2の法令が出た後も、キリスト教の人数が増えているのはなぜか、資料2・3を基に、「キリスト教」という語句を使って説明せよ。

(資料2) 宣教師の国外追放を命じた法令(一部要約) (資料3) 日本のキリスト教の人数の移り変わり

- 一 日本は神国であるから、キリスト教国がキリスト教を伝え広めるのは、けしからぬことである。
- 一 宣教師を日本に置いておくことはできない。今日から20日以内に準備して帰国するように。
- 一 ポルトガル船は、商売のために来ているので、宣教師追放とは別である。今後も商売をしに来るように。



二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!

本問題における平均通過率は 平均通過率 34.2% 無答率 10.6%となっています。原因としては、キリスト教への対応がどのように変化したかの事実面だけを捉え、変化した原因や理由、背景等を考えさせる場面が不足していることが考えられます。そこで、授業改善としては、次のような工夫が考えられます。

イ 授業改善のポイント

7 提案		
グラフの見方 (読み取り方)		
⇒ 「表題の3点・単位の2点・変化の5点」を意識させ、変化の5点に焦点を当てた授業の実践を行いたい。		
キーワード	読み取るポイント	
表題の3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表題 (タイトル) は?</li> <li>・年度は?</li> <li>・出典は?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフが何を示しているのかが端的に分かる。… 最初に確認!</li> <li>・年度の新しいほうが資料としての価値が高い。</li> </ul>
単位の2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦軸の単位は?</li> <li>・横軸の単位は?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その数量の単位 → 円? トン? など … 読み上げて確認する。</li> <li>・通例、年度になる → 毎年の数値か? 2年おきか? など … 数字を横に見ながら、確認する。</li> </ul>
変化の5点	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 段々上がる</li> <li>B 段々下がる</li> <li>C 突然上がる</li> <li>D 突然下がる</li> <li>E 変化なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの傾向をつかむ。</li> <li>・CとDには要注意。 → そのようになった原因、理由、背景等を考える。</li> </ul>

◎ キリスト教への対応がどのように変化したか、原因、理由、背景等を考えさせます。

○ 流れを理解させるとともに、授業の中で資料やグラフを活用し、読み取りについても慣れさせます。

○ 左記の「表題の3点・単位の2点・変化の5点」を意識させ、変化の5点に焦点を当てた学習課題を設定して、授業を行う必要があります。